



治功神社社殿



No.50

治功神社について

佐白山麓の山麓公園山際に、神明鳥居と社名標柱が建ち、その奥に治功神社の社殿が鎮座しています。本殿は方一間の掘立高床式で高欄があり、戸口一つの平入り形式です。屋根は銅板葺き切妻造で、千木と五本の堅魚木をのせ、左右に棟持柱のある典型的な神明造りの社です。拝殿は間口二間、奥行一間半の切妻式コンクリート造りで、内部は壁のない空間になっています。境内は山裾を削って平地にして約二反八畝あり、社殿の外に石灯籠一对、稲荷神社小祠、記念碑二基、歌碑一基が建てられています。

います。

祭神は、笠間八万石の城主、牧野氏の始祖である武内宿禰と歴代の当主、及び明治元年（一八六八）の戊辰戦争から西南の役、日清・日露戦争、第一次世界大戦まで、笠間町出身の戦死者二七柱の霊も祀られています。

創建は、明治十三年（一八八〇）当時大和ににあった牧野邸（現在の笠間小学校校舎の地）裏手に建立されました。翌年に旧藩士たちが同志会的な「笠間追遠社」を結成して神社の護持にあたりました。

ところが、牧野邸の屋敷内では会員や町民が参拝するには不便さがありませんでした。そこで、牧野氏の所有地の現在地を整地して、大正十四年（一九二五）十二月に移転しました。この時、本殿、拝殿と共に鳥居、灯籠、記念碑、歌碑も移築されました。

太平洋戦争後、各種の改革と社会状況の変貌から追遠社の機能が停止しました。同時に拝殿の腐朽破損が見られ、神社の尊厳が著しく損なわれてきました。そこで昭和四十一年に「治功神社拝殿修復委員会」を設立して、本殿の玉垣と拝殿の新築を進め、同時に「笠間追遠社」を改組織して、再出発しました。

その後、本殿の柱の腐食、さらに東日本大震災による拝殿の被害もあり、各々平成期に修復工事を進め、今の社容になっています。

現在、当社の宮司は笠間稲荷神社宮司が兼務しており、毎年十月中頃の吉日に祭主の牧野氏を中心に例祭を執行し、合わせて笠間追遠社の総会及び記念講話が行われています。

（市史研究員 小室 昭）

国産品なら
畳工房

ニタイラ



他社と比べて下さい
見積もり無料

気持ちの良い季節に
なりましたね。

アミ戸
張り替え **10%OFF**
10月末まで

畳表替え……3,900円～
襖張替え……2,800円～
障子張替え(大)……1,780円(税別)
アミ戸張替え(大)……2,100円(税別)
◎オーダーカーテンもやります
その他リフォームもご相談下さい。

笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845

外壁・屋根…うちもそろそろかな…?

色々なところから営業が…
どこに頼めばいいの…?

そんなあなたも
お気軽にご相談下さい!
外装点検・お見積り無料



一級塗装技能士による住まいの塗り替え

(有)中嶋塗装工業

茨城県知事許可 第31532号 本社 石岡市半ノ木14159-5

中嶋塗装 検索

TEL 0299-57-1641